

持続可能な行財政運営

持続可能な行財政運営

目指す姿

- [1]人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち
- [2]多様な魅力を生かした活力あふれるまち
- [3]地域の特性に応じた機能的なまち
- [4]子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち
- [5]安全で安心して暮らし、過ごせるまち

将来都市像の実現を目指し、中長期的な視点に立った計画的な行財政運営が展開されている。

関連するSDGs



現状と課題

人口減少や少子高齢化の急速な進行、ライフスタイルの多様化など、社会経済情勢が激しく変化する中、行政需要は多様化・高度化していく傾向にあり、基礎自治体の役割はますます高まっています。

人口減少により地域の担い手の減少が見込まれる中、温泉観光地として発展してきた本市には、多くの来遊客や別荘などの所有者、さらにワーケーションや二地域居住(解説P.152)といった新しい働き方・暮らし方を取り入れる人々など、本市と継続的なかかわりをもつ方が多く、今後さらに関係人口を増やす取組が重要となります。

伊豆山土石流災害や昨今の自然災害の激甚化などを踏まえ、多様な課題に迅速かつ柔軟に対応するための組織体制の見直しや、必要な職員の確保・育成が重要な課題となっています。

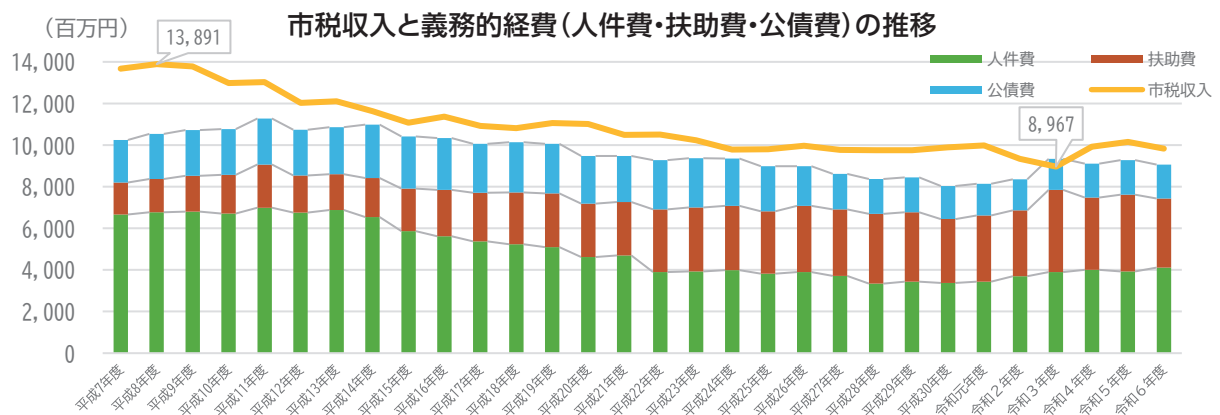
今後、生産年齢人口の減少に伴う税収などの減少が見込まれる中、義務的経費の縮減は見込めず、また老朽化が進むインフラや公共施設などへの投資的経費の増加が見込まれます。令和7年度から熱海型DMO(熱海観光局)(解説P.148)の始動にあわせた宿泊税の導入やふるさと納税の取組など、歳入の確保に努めてきましたが、限られた財源のなか、将来世代に過度な負担を先送りにしないよう、計画的かつ慎重な財政運営を行っていく必要があります。

公共施設については、最大の市民福祉を実現できるよう、将来の人口規模・財政規模に応じた公共施設の選択と集中による適正化を進めていくことが重要です。

現在、行政手続のオンライン化を推進しているものの未だに従来の紙による申請の割合が高い状況です。社会全体のデジタル化が進むなかで、行政においてもデジタル技術を活用した市民の負担軽減や利便性の向上、業務効率化にシフトしていく必要があります。

公式ホームページや各種SNS(解説P.148)を活用し行政情報の発信を行っていますが、ほしい情報にアクセスしにくいケースもあることからAI(解説P.147)などを活用して補助的に情報に誘導するなどの対応が必要です。

関連データ



出典:地方財政状況調査

行政の取組

主体的に実施する取組

- 第五次熱海市総合計画及び第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略のPDCAサイクルの確立
- 迅速かつ柔軟な行政組織の構築と人材の確保・育成
- 広域連携の充実と強化
- 観光と連動した市外広報の発信
- 関係人口の拡大の推進
- 健全な財政運営の維持
- 既存財源の安定的な確保
- 公共施設の総量削減など公共施設マネジメントを推進
- 市有地の有効的な利活用の推進
- 行政手続のオンライン化や簡素化、窓口対応の円滑化
- 職員のデータ分析スキル向上、データ活用による解決モデルの形成などの取組の総合的な実施
- 市保有データの段階的なオープンデータ化とその拡充



主な事業

- 第五次熱海市総合計画、第三期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の管理・検証
- 将来負担・財政リスクを踏まえた予算措置と市税など自主財源の安定的な確保
- 効率的かつ横断的な連携が図れる行政組織の整備
- 人材育成ビジョンに基づく職員研修
- 職員がその個性と能力を十分に発揮し、また、仕事と家庭を両立させやすい環境づくり
- 市民サービスの向上と行政における課題解決に向けた広域連携の推進
- 戦略的なシティプロモーション活動
- 地域資源を活用した市内外の企業・個人による交流促進事業の展開
- 第3期公共施設アクションプランの策定・推進
- 遊休地の利活用の推進
- 行政手続のオンライン化とデジタル技術を活用したスマート窓口の推進
- オープンデータの充実、GIS(解説P.147)の利活用の促進
- 職員のデジタルリテラシー(解説P.152)の向上・ボトムアップのための研修実施
- 公式LINEを活用した新たな情報発信基盤の構築



指標と目標値

指標	現状値	目指す値	指標の説明
総合計画後期基本計画 進捗率	R7	R12	各施策を着実に実施することにより、KPIの達成率100%を目指します。
	—	100%	
行政手続の オンライン化率	R6	R12	行政手続のオンライン化を着実に進めるとともに、市民の利便性向上や行政運営の簡素化・効率化を図ります。
	70%	100%	
公開型GIS 「あたまMAP」 アクセス数	R6	R12	GISを活用して市民サービスの向上と業務効率化に取り組みます。
	6,090件	10,000件	

